

## 「平成28年度多治見市資金運用実績」の公表について

### 1. はじめに

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っています。「多治見市資金管理運用基準」に基づき平成28年度の運用実績を公表します。

### 2. 歳計現金・歳計外現金の管理運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」があります。

通常は、普通預金（決済性預金）で保管していますが、すぐに支払いを行わない資金については定期預金で運用を行っています。

平成28年度の運用実績は以下のとおりです。

表1 歳計現金及び歳計外現金の保管、運用実績

区分		現金残高	普通預金（注1）	定期預金
平均月末残高	H26	3,220,356千円	2,370,356千円	850,000千円
	H27	4,026,299千円	3,026,299千円	1,000,000千円
	H28	4,761,279千円	3,011,279千円	1,750,000千円
年間利子額	H26	996千円	—	996千円
	H27	1,305千円	—	1,305千円
	H28	3,151千円	—	3,151千円
平均年間利率	H26	0.031%	—	0.117%
	H27	0.032%	—	0.131%
	H28	0.066%	—	0.180%

※（注1）普通預金は、資金保全のため利子が付かない「決済性預金」で保管している（基金の運用も同じ）。

### 3. 基金の管理運用実績

当市では、平成28年度末現在40の基金を設置しています。これらの基金の平成28年度末現在高は、247億円程となっています。

基金の現金は普通預金（決済性預金）で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券（国債・地方債・政府保証債）で運用を行っています。

平成28年度中の運用実績は、以下のとおりです。

表2 基金の保管、運用実績

区分		基金全体	普通預金	定期預金	債券
平均月末残高	H26	23,162,760千円	1,725,120千円	17,568,550千円	3,869,090千円
	H27	24,043,368千円	4,577,708千円	15,799,296千円	3,666,363千円
	H28	<b>24,438,010千円</b>	<b>4,449,143千円</b>	<b>16,644,340千円</b>	<b>3,344,527千円</b>
年間利子額	H26	58,080千円	—	32,852千円	25,228千円
	H27	49,882千円	—	24,654千円	23,283千円
	H28	<b>50,897千円</b>	—	<b>29,616千円</b>	<b>21,281千円</b>
平均年間利率	H26	0.251%	—	0.187%	0.652%
	H27	0.208%	—	0.168%	0.635%
	H28	<b>0.208%</b>	—	<b>0.178%</b>	<b>0.636%</b>

#### 4. まとめ

○歳計現金及び歳計外現金については、大規模事業の完了に伴い前年度からの繰越金が増加したため、月末の現金残高平均は前年度に比べ8億円程増加しています。

これをうけ、定期預金の預入金額を増加し、また、基金の繰替運用を最大限活用して預入期間も延長して定期預金利子の確保に努めたため、年間利子額は平成27年度に比べ184万円ほど、率にして141%増加しました。

○基金については、平均月末残高は244億4,000万円で前年度から微増（1.6%）し、年間利子額も5,089万円と前年度から微増（2.0%）しました。

日銀の金融緩和政策が継続されたため、長期的に低い金利が固定される状況となった債券の新規購入は見送り、定期預金での運用を行いました。

○金融緩和政策の継続により、以前にも増して運用益の確保が難しい状況が続くものと見込まれます。今後も最も確実かつ有利な資金運用の検討と実践に努めていきます。